

# 『人権作文・詩・標語・ポスター集』

小郡市では、人権尊重の意識を高めるために、各学校で人権について学習をしています。この「人権作文・詩・標語・ポスター集」は、児童・生徒の皆さんが学習をとおして感じたこと・考えたことを表現したもので、各幼稚園・保育所(園)・小中学校から応募いただいた多くの作品の中から選定し作成したものです。

7月・12月の市民講演会の時にポスターを掲示し、作文の発表を行っています。

昨年度分の一部をご紹介します。



小郡幼稚園 5歳児(44人)



三國中一年 宮迫 麻佳



のぞみが丘小1年 なかしま あやか

## 差別をなくす

御原小学校 六年 津留 彪人

ぼくは、「むかい治英さん」の人権コンサートを聞いて、「招かれなかつたお誕生会」が一番心に残りました。

最初、何の気なしに歌詞の紙を見ていました。でも、じっくり読んでみると「差別」がひっつかかって、ぼくは、大人のわがままやけがれ意識などが、そういう差別をおこしていると思いました。

あの子とは仲よくなるとか、近寄っちゃいけないとかいうようなことを子どもに教え、引き離してしまおう。そんなことがあるから、「差別」という文字がけして消えないとあらためて思いました。

また、ぼくはこの曲を聞いて、同じようなことがあったなと思いました。

それはまだ、ぼくが前の学校にいた時のことです。ある子が誕生日だったとき、その子がきららっていた子だけ、誕生会に呼びませんでした。ほかの友だちは、「何で呼ばんと」と聞いたけど、その子は、「気持ち悪いっちゃもん」と答えました。

ぼくは、呼ばれなかつた子といつしよに、事前に出し物を考えていました。そのとき彼は、「みんな喜ぶかなあ」と楽しそうに言っていました。

むかいさんの曲を聞いて、あのとときの彼はこういう気持ちだったのかなあと思いました。そして、ちよつと涙が出てしまいました。そして、そのころ差別のことをよく知らなかつた自分が、「やめる」と言えなかつたことに後悔しました。

コンサートを聞き終えた今、ぼくは、「差別」をなくすために、誤った考えをもつた人におそれず、おかしいことはおかしいと言いたいです。そして、自分のあやまちに気づき、考え直してもらいたいです。

むかいさんのように、差別はやめましようと思える人になつて、「差別」という文字をこの世の中から消したいと思いました。

各学校で、しっかりと人権に関する学習が積み重ねられています。私たち大人も学習し、だれもが安心して暮らせる社会を築いていきたいものです。

問合せ先 人権・同和教育課  
☎72-2111内線532

- ・つかおうよ ふわふわことばを いっぱいね  
大原小2年 中村 弘樹
- ・やさしさは 自分の心を みがくこと  
小郡小4年 天本たくみ
- ・もうやめよう 見て見ぬふりは ゆるすこと  
立石中2年 檜原 悠里